

スミシ

みたけ彩

MITAKE IRO



解説員のオススメ
スミシ

御岳ビジターセンター

観察ポイント

スミシは、
お花や葉で見分けるけれど
個体差も多い！
いろんな角度で
観察してみてください！



御岳山では、約 15 種のスミシに出会うことができます。今回は、出会える可能性が高い 10 種をご紹介します！可愛らしい姿の中に個性が光る、スミシの世界を是非楽しんでください♪

タチツボスミシ

花期：3月中旬～6月
他のスミシと比べると、環境を選ばず、群生していることも多い。アリが種を運んだのか、石垣や木の幹などから生えることも珍しくないド根性スミシ。



【全体】

アオイスミシ

花期：3月下旬～4月上旬
スミシの中で春一番を知らせるひとつ。名前は花が青いからではなく、葉がフタバアオイに似るから。花を正面から見ると、横からべちゃっと押されたようなお顔。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】



【花の正面・横から】



【葉の表】

ヒナスミシ

花期：4月上旬～4月中旬
早咲きのスミシ。名前の通りピンク色で可愛らしく、スミシ界のプリンセスとも言われるとか?! 御岳山集落内の土手などで見られる。



【全体】

エイザンスミシ

花期：4月上旬～4月中旬
葉が深く3つに裂けているのが大きな特徴。ヒゴスミシと葉が似ているけれど、御岳山で見られるものはほとんどこのエイザンスミシ。花はふっくらとしてピンク色。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の裏】



【花の正面・横から】



【葉の表】

ナガバノスミレサイシン

花期：4月中旬～5月中旬
大きくて長めの葉で存在感をアピール！紹介している中では名前も一番長い。表参道の杉林など少し暗いところが好きで、花期にはたくさん見ることができる。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】

マルバスミレ

花期：4月上旬～5月中旬
葉も花も株全体の雰囲気も、丸っとしているとにかく丸いふんわりしたスミレ。花の色は純白で、その色がよりマルバスミレの可愛らしさを際立たせている。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】

フモトスミレ

花期：4月上旬～5月中旬
草丈が3～5cm程と小さく、深い色合いがアンティークのような雰囲気を感ぜさせる。半日陰や岩場などあちこちの足元で出会う。葉脈が白く見える斑入りも多い。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表・斑入りの葉の表】

ニョイスミレ

花期：4月下旬～5月中旬
別名ツボスミレ。小さくて可憐な白い花びらに紫色のすじ模様が良く映える。葉は丸みがあってみずみずしく、食べたらいおいそう（食べないでね）。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】

アケボносミレ

花期：4月中旬～5月上旬
花の咲く頃に葉を出すため、他のスミレと比べると葉が小さく、カールしたようにくるとしている。花の美しいピンク色は夜明けの空を思わせる。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】

シコクスミレ

花期：4月中旬～5月上旬
少し標高を上げて、大岳山の近くまで行かないと見ることができない。花を付けない個体も多く、花に出会えると嬉しくなる。真っ白な花と、葉の凸凹が特徴的。



【全体】



【花の正面・横から】



【葉の表】